

## 第2期筑前町総合戦略 進捗確認

令和5年3月

### ■令和3年度の成果と課題

令和3年2月策定した第2期筑前町総合戦略の成果指標を確認しながら、令和3年度の成果と課題を整理する。

#### (1) 基本目標1 活力ある筑前町を維持するための人材の育成と雇用を創出する

※事業所数については、次回の経済センサスの結果により判断する。

具体的施策に関する成果指標の結果は次のとおりであった。

- ①企業誘致件数については、目標値4件に対し、2件(50%)であった。
- ②労働に関する情報提供数(年間)については、目標値7回に対し、7回(100%)であった。
- ③認定農業者数(累計)については、目標値150人に対し130人(86.7%)であった。
- ④新規就農者数(年間)については、目標値15人に対し12人(80.0%)であった。
- ⑤6次産業による製品化事業者数(累計)については、目標値20人に対し11人(55%)であった。
- ⑥創業・起業のための講座受講者のうち創業・起業した人数(累計)については、目標値35人に対し、5人(14.3%)であった。

#### (2) 基本目標2 地域魅力の情報発信により、筑前町への新しいひとの流れを創出する

※社会動態による人口増加数(平均)については、目標値43.2人/年に対し、157人/年(363.4%)であり大きく増加した。

※観光入込客数(年間)については、目標値240万人に対し78.4万人(32.7%)であり、新型コロナの影響を受けていると考えられる。

具体的施策に関する成果指標の結果は次のとおりであった。

- ①町の公式SNSのフォロワー数については、目標値を1500人に設定。次年度以降実績を確認していく。
- ②道の駅および関連施設に訪れた人の満足度については、目標値を70%に設定。次回の満足度調査にて確認する。
- ③大刀洗平和記念館の来場者数(年間)目標値10万人に対し50,736人(50.7%)であり、新型コロナの影響を受けている。

- ④町内の観光農園における入込客数（年間）については、目標値 49,000 人に対し、4,132 人（8.8%）であり、新型コロナの影響を大きく受けている。
- ⑤移住についての相談件数（累計）については、目標値 50 件に対し 17 件（34.0%）であった。

### (3) 基本目標 3 子どもと子育て世代から選ばれるまちを創出する

※町の幼少人口（0歳～14歳）の割合については、目標値 14.0%に対し 14.3%（102.1%）であった。

具体的施策に関する成果指標の結果は次のとおりであった。

- ①地域学校協働活動をサポートする地域ボランティアの人数については、目標値 85 人に対し、36 人（42.3%）であった。
- ②「夢や希望を持っている」と答えた児童生徒の割合については、目標値 80%に設定し、次回調査の際に確認する。
- ③各学校におけるタブレット配置数については、目標値 1 台/人に対し、1 台/人（100%）を達成した。
- ④子育て支援センターにおける相談・支援対応件数については、目標値 1,170 件に対し、1,036 件（88.5%）であった。
- ⑤交通事故・防犯対策の町民満足度については、目標値 70%を設定し、次回の調査の際に確認する。
- ⑥町内保育所・学童保育所における待機児童数（年度当初）について、目標値 25 人に対し 31 人（124.0%）であった。
- ⑦パパママ教室参加者数（年間）については、目標値 100 人に対し 85 人（85%）であった。

### (4) 基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心して住み続けたいまちを創出する。

※転入者数については、目標値 1,468 人に対し 1,393 人（94.9%）であった。

具体的施策に関する成果指標の結果は次のとおりであった。

- ①住民参画のまちづくりの重要性を理解している町民の割合については、目標値 80%を設定し、次回調査の際に確認する。

- ②ボランティア登録者数については、目標値 250 人に対し 228 人 (91.2%) であった。
- ③町立図書館における貸出冊数 (年間) については、目標値 299,000 冊 に対し、231,093 冊 (77.3%) であった。
- ④シルバー人材センターやボランティアで活躍している高齢者の数 (累計) については、目標値 490 人に対し、398 人 (81.2%) であった。
- ⑤ラジオ体操・ウォーキング事業参加者数 (年間) については、目標値 1,000 人に対し 660 人 (66%) であった。
- ⑥防災行政無線戸別受信機の設置率については、目標値 78% に対し 73.0% (93.6%) であった。
- ⑦防災士の資格を持った人の数については、目標値 35 人に対し 58 人 (165.7%) であった。
- ⑧災害時応援協定の締結数については、目標値 25 件に対し 25 件 (100.0%) であった。
- ⑨立地適正化計画策定の進捗率については、2024 年に向け策定していく。
- ⑩公共交通運行便数 (1 日あたり) については、目標値 327 便に対し 327 便 (100%) であった。

## ■総括

新型コロナの影響を受け、事業進捗に停滞が散見される。今後の新型コロナの動向を踏まえ、あらためてこれまでの事業を見直し、ウィズコロナとしてできる事業等を検討、推進していく必要がある。

基本目標 1 については、新型コロナの影響を色濃く受けたが、企業誘致等継続的に推進していく必要がある。

基本目標 2 については、令和 3 年度町の公式 LINE を始めた。今後フォロワーが増加するよう取り組むと共に、「道の駅」を活用して情報発信を強化し新しい人の流れを創出できるよう取り組む必要がある。

基本目標 3 については、子育て環境の整備を継続して行う。コロナ禍においてタブレットの整備は進んだので、その活用を推進する必要がある。

基本目標 4 については、転入者数については社会増の状況にある。「とかいなか」の利点を活かし、安心して住み続けたい町を目指す必要がある。